

日本赤十字九州国際看護大学主催 第6回国際フォーラム

**フォレンジック看護とは？  
WHAT IS  
FORENSIC  
NURSING?**

日時：2017年8月31日 13:10～16:20

会場：日本赤十字九州国際看護大学オーヴァルホール

対象：看護師、助産師、保健師、大学院生、大学生、教職員

参加費：無料

Japanese Red Cross Kyushu International College of Nursing

<https://www.jrckicn.ac.jp/>

## 講演内容

## 講師紹介

### 【第Ⅰ部】

#### アメリカと日本のフォレンジック看護

##### ◆「アメリカでのフォレンジック看護の実践」

国際フォレンジック看護学会創設者

講師 バージニア・リンチ先生

(日本赤十字九州国際看護大学 客員教授)

##### ◆「日本のフォレンジック看護の実践と課題」

講師 米山奈奈子先生

(秋田大学大学院医学系研究科 教授)

### 【第Ⅱ部】

#### 日本の暴力被害の支援

##### ◆「暴力被害を受けた女性と子どもの理解と支援」

講師 キタ幸子先生

(東京大学家族看護学分野 助教)

##### ◆「日本の性暴力被害者支援看護師養成講座の実際」

講師 加納尚美先生

(茨城県立医療大学保健医療学部 教授)

### 「フォレンジック看護って？」

日本での認知度はまだ低いですが、暴力に関する健康問題を扱う看護領域として注目されてきています。

国際フォーラムに参加して、暴力被害を受けた女性と子供への支援について考えてみませんか？

通訳をお願いしますので、皆様、お誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。



バージニア・リンチ先生

フォレンジック科学および看護学の専門分野として、国際フォレンジック看護学会を創設・初代会長。論文・著書ともに多数執筆をし、学者としての数々の賞を受賞。記録映画『アメリカ看護史—挑戦と情熱』にも出演。現在は、フォレンジック看護学国際コンサルタントとして、フォレンジック看護学の国際的普及に尽力している。



米山奈奈子先生

秋田大学大学院医学系研究科地域生活支援看護学講座 精神保健看護学分野 教授。DV被害女性のシェルター活動支援から日本人として初めて国際フォレンジック看護学会に参加。2000年に日本でのフォレンジック看護に関する活動に対して奨励賞を受賞。現在、国内NPOによる性暴力被害者支援看護師養成プログラムなどにかかわる。



キタ幸子先生

東京大学大学院医学系研究科家族看護学分野助教・助産師。同大学母性看護学・助産学分野博士後期課程(保健学博士)終了後、現職。研究分野はパートナーからの暴力(IPV)被害を受けた母子の心理・育児支援。



加納尚美先生

茨城県立医療大学保健医療学部看護学科教授・学科長  
NPO女性の安全と健康のための支援教育センター(理事・運営委員)にて2000年から  
SANE(Sexual Assault Nurse Examiner、性暴力被害者支援看護師)の研修プログラム開発と研修に関わる。2014年に日本フォレンジック看護学会をSANE終了生ら、賛同者と立ち上げ、理事長の役割を担っている。DVD「性暴力被害者を受けた急性期看護ケア」「ドメスティック・バイオレンス 被害者への急性期看護ケア」など教材開発をし、現在、研究として性暴力被害者対応チーム研修を実施している。

### お問合せ

日本赤十字九州国際看護大学

〒811-4157 宗像市アスティ1丁目1番地

電話:0940-35-7001(代表)